

北海道札幌

農林大學

八田三郎様
様
様
様





大坂市西區南堀江通壹丁目
勝本忠兵衛

あまのつとむるの如く

の如く今人の世に

可くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

の如くはるる中

河 野 一 郎 掃 屋

一 條
七の五本が引掛りも満足に

柳 此 女 清 留 人 の 大 人

柄 何 の 申 上 げ 何 九 七 七 加 取

君 ち 何 せ ば 為 志 願 行

感 情 泉 の 細 谷 一 放 任 河

運 切 本 掃 屋 し 何 七 何 七

雲 一 末 掃 七 の 裁 七 七 七

微 水 河 一 何 七 何 七 七 七

一 の 申 上 げ 七 掃 屋 七 河

一 掃 屋 の 掃 屋 加 取 君 一 何

お 七 又 何 七 何 七 七 七 七

七 何 七 何 七 何 七 の 清 留 人

何 七 七 何 七 七 七 七 七 七

計 七 何 七 何 七 何 七 七 七

おへ又も何と云ふも御
て新が此等其等の清白
好んと身とせん養花十の
計り前中崎乃衣清集
る碧衣いふり高橋君に
見申崎曰く字の掃面直ち
智也さんの方へ来ぬ何お云ふ
若かして大に誤りせるに
高橋君平氣おとまを智也
さん、おあおのからむやう
と為らうれい中崎曰く
勝本は宜し様しからん公人
とてこの生涯を葬るべく
編輯一の決議せりとして
大にメートルと指が引取り
り中崎、笑止のそゝるさん

所...の十

と一この生涯と葬るまで

編輯一の決議せりとして

大いメートルと拾り引取り

りや宜い笑止のそびれさ

はあ一流の贖玉のあき

のつにはあきあきあきあき

たあああああああああ

沈沈々沈沈々沈沈々沈沈

部こ部ああああああ

十十十十

あああああああああ

あああああああああ

あああああああああ

あああああああああ

あああああああああ

あああああああああ

あああああああああ

海一航の贖玉のふた

のつにはやう悲の古歌の

たしと果てしなく生かす不

沈沈と沈みゆく山雲

詞こゝろあやむく

十一百十

時中

心先ん 晴

去る十二の杉葉一葉

八道中より老若人

つたゆらゆらと生かす

少年も此年午初中結節

出心亭堂用代一葉し

境場の釘拾ひて天定を